



プレミアムトーク「Japan OTICの取組」

☆会員限定☆

携帯通信事業者のRAN(Radio Access Network:無線アクセスネットワーク)については、マルチベンダー化を実現するOpen RAN※1などネットワーク機器の構成を刷新する取組が各国で進んでいます。

国内でも、YRP研究開発推進協会、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクおよび楽天モバイルが、令和4年12月に、O-RAN ALLIANCEが定める標準仕様に基づく試験・認証拠点「Japan OTIC(Open Testing & Integration Centres)※2」を横須賀リサーチパーク 内(横須賀市光の丘)に開設しました。

※1: Open Radio Access Network。O-RAN Alliance が RAN を O-RU(O-RAN無線ユニット)、O-DU(O-RAN 分散ユニット)、O-CU(O-RAN集中ユニット) 等複数のユニットに分割して、これまで 3GPP が仕様を定めていなかった部分の仕様を定めオープン化(公開)。これにより、様々なベンダーが通信ネットワーク機器を提供しやすくなると同時に、エリア構築のしやすさ、機器調達コストの低廉化が期待できる。

※2: YRP HP (<https://japan-otic.jp/>)

そこで本セミナーでは、RANのオープン化、O-RANアライアンス及びJapan OTICの概要や現状についてYRP研究開発推進協会の担当者よりご紹介していただきます。ぜひご参加ください。

◆日時 **令和6年4月16日(火) 16:00~17:00**

◆開催方法 オンライン形式 (Zoomミーティング)

◆申込方法 **【締切: 令和6年4月12日(金)】**

次のURLからお申込みください。

URL: <https://service.compote.jp/newton/enquete/form/339191>

◆講演内容 「Japan OTIC(ジャパンオーテック)の取組について」

一般社団法人YRP研究開発推進協会 大矢 浩 氏

- ・RAN のオープン化
- ・O-RAN ALLIANCE※3 とは
- ・Japan OTICの概要

など

※3: ウェブサイト(<https://www.o-ran.org/>)

